

2022年 自己評価結果

1、 本園の教育目標

- 少人数で、きめ細やかな保育をおこなうことで、自信を持った心豊かなこどもに育つことを目指す。
- 遊びの中で友達や先生との関わりを通して人生の基礎となる主体性が身につくことを目指す。

2、 今年度、重点的に取り組む目標

- 主体性が身につくためには、どのような保育をするべきか、日々話しあいを重ね、日々の保育に取り入れていく。
- 課外教室や、預かり保育の充実を図る。

3、 評価項目の達成および取り組み状況

評価項目	取り組み状況
一人一人のこどもを援助するため 全教職員が共通理解を持ち関わる。	保護者との連携を軸に、教職員間で一人ひとりのこどもについて日々話し合いを行い、理解を深められている。
教育の質を向上させるため、 園内研修を充実させる。	園内研修後、子ども主体の保育にする為の改善点を話し合い、保育に活かした。
保育内容や行事の見直しを行い 改善に努める。	子どもが主体の保育となるよう、改善を行っている。
課外教室の充実	アートクラス・ECCの課外授業の開始を進める
預かり保育の充実	夏季休暇中の預かり保育回数増加と内容の充実を行った。

4、 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

年間行事の詳細について前々年から個別に見直しを行った結果、こども同士話し合いの時間を沢山つくることができ、一つ一つの行事を主体的に取り組める姿が見られ、保育質の向上につながった。今後も引き続き改革に努める。

5、 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
保育の質の向上	今までの前例に囚われることなく、子ども主体の保育になるよう、継続し改善に努める。
預かり保育の充実	預かり保育の利用者が増えている。今後も内容の充実を図り、預かり保育が、実り有る時間になるよう取り組む。
園舎の改修	子どもたち、保護者の方々、先生が快適に過ごせるように、改修を行い、園舎の環境を整える。

6、 学校関係者の評価
評価完了次第掲載する。

7、 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されているとみとめられている。